

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013803 - 0011

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月21日		(水)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	H6エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H5タンクエリア								
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/10/24	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無		
	1	保管物名	①	②	③					
2	コンクリートガラ	B	02	W	A	30 m ³	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
メモ	大型6台									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	11	—	0085
2018/10/30				
調整後保管日時		2018年11月21日		
		8:30		
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年11月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h			エリアC	2018/11/21 8:20	5 m ³			1
1	2	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h			エリアC	2018/11/21 8:45	5 m ³			1
1	3	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h			エリアC	2018/11/21 8:55	5 m ³			1
1	4	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h			エリアC	2018/11/21 9:05	5 m ³			1
1	5	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h			エリアC	2018/11/21 9:20	5 m ³			1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率
			①	②	③								
	6					m							
	7					m							
	8					m							
	9					m							
	10					m							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	11	—	0065

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0011

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月22日	(木)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	H6エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事							
	発生場所	H5タンクエリア							
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL				
	元請会社			担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/10/24	測定者			測定器名	ICW-BL		
					管理番号	1F-ICWBL-14			
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	コンクリートガラ	①	②	③	30 m ³	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
2					m ³				
3					m ³				
4					m ³				
5					m ³				
メモ	大型6台								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				2018/10/30
廃2018	—	11	— 0066	
調整後保管日時		2018年11月22日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年11月22日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	技 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/11/22 8:20	5 m ³			1
	1	2	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/11/22 8:30	5 m ³			1
	1	3	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/11/22 8:55	5 m ³			1
	1	4	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/11/22 9:00	5 m ³			1
	1	5	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/11/22 9:50	5 m ³			1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入 欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③								
	6					m ²							
	7					m ²							
	8					m ²							
	9					m ²							
	10					m ²							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	11	—	0066

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	6	コンクリートガラ①	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/11/22 9:55	5	m ³			1
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B 不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
		C 難燃物	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
			01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D 伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
			02 伐採木(枝・葉)				
		② 状 態		D:乾燥, W:湿気有	③ 履 歴		
					A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6015203 - 0001		
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月21日		(水)	13:00		承認	審査	作成			
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託3期										
	発生場所	5,6号西ヤードA					2018/11/5	2018/11/5	2018/11/5			
	作業主管G	工事基盤整備グループ			監理員			TEL				
	元請会社				担当者			TEL				
	線量測定年月日	2018/11/5		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-033	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③								
	1	金属ガラ	B	01	D	A	10 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無		
	2	不燃物その他	B	10	D	A	10 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無		
	3	不燃物その他	B	10	D	A	18 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	β有	0.015 mSv/h	
	4						m ²					
	5						m ²					
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。66コンテナ3基											

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	11	—	0125	2018/11/6
調整後保管日時		2018年11月21日		13:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年11月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/21 12:10	10 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
				B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
						06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
						11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—				
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015203 - 0001

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月22日	(木)	13:00	承認	審査	作成													
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託3期																		
	発生場所	5,6号西ヤードA			2018/11/5	2018/11/5	2018/11/5													
	作業主管G	工事基盤整備グループ		監理員	TEL															
	元請会社			担当者	TEL															
	線量測定年月日	2018/11/5	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-033													
No.	保管物名	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率										
		①	②	③																
		1	金属ガラ	B	01						D	A	10	m ²	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無	
		2	不燃物その他	B	10						D	A	10	m ²	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無	
		3												m ²						
		4												m ²						
5							m ²													
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0126
				2018/11/6
調整後保管日時		2018年11月22日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/22 12:10	10 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0161

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月22日		(木)	8:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1F1～4号機 既設多核種除去設備 B系Stage1循環ポンプ出口ドレンライン新規製作、配管交換									
	発生場所	既設MRRS						2018/11/6	2018/11/6	2018/11/5	
	作業主管G	処理設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/11/5	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	F1-ICW-304F1-ICWBL-S1	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	可燃物(紙・ウエス類)	A	01	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.07 mSv/h	β有	100 mSv/h
	2	可燃物(ポリ・ビニール類)	A	02	D	A	2 m ²	0.01 mSv/h	0.07 mSv/h	β有	100 mSv/h
	3	不燃物(金属ガラ)	B	01	D	A	2 m ²	0.01 mSv/h	0.07 mSv/h	β有	100 mSv/h
4	難燃物(難燃物その他)	C	04	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.07 mSv/h	β有	100 mSv/h	
5						m ²					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。6m3コンテナ収納											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0129
				2018/11/6
調整後保管日時		2018年11月22日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年11月22日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	技 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(ZK-01607)	5 μSv/h	15 μSv/h	15 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2018/11/22 8:05	6 m ³		ZK-01607	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
上記の保管物は6m3コンテナ1基に収納。												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012320 - 0002

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月21日	(水)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1F使用済保護衣等分別・減容・保管業務委託								
	発生場所	固体廃棄物貯蔵庫								
	作業主管G	固体廃棄物管理グループ	監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/11/2	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	1F-ICWBL-16		
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	金属がら(不良コンテナ)	B	01	D	B	12 m ²	10 μ Sv/h	10 μ Sv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
メ モ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0133
				2018/11/6
調整後保管日時		2018年11月21日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属がら(不良コンテナ) ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/21 9:35	10 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012320 - 0002

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月22日	(木)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1F使用済保護衣等分別・減容・保管業務委託								
	発生場所	固体廃棄物貯蔵庫			2018/11/6	2018/11/6	2018/11/6			
	作業主管G	固体廃棄物管理グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/11/2	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号			
							IF-ICWBL-16			
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	金属がら(不良コンテナ)	B	01	D	B	12 m ³	10 μ Sv/h	10 μ Sv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
	4						m ³			
5						m ³				
メモ	注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0134
				2018/11/6
調整後保管日時		2018年11月22日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年11月22日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属がら(不良コンテナ) ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/22 9:10	10 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β + γ 線量率欄に「 β + γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0182

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月22日		(木)	10:30	承認	審査	作成		
	作業・件名	プロセス建屋東側足場修理								
	発生場所	1F構内					2018/11/7	2018/11/7	2018/11/7	
	作業主管G	処理設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/11/6	測定者			測定器名	ICW/ICWBL	管理番号	112/36	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	金属ガラ	B	01	D	B	5 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
メモ	注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 ※移動式クレーンを使用し、ウェイトを吊下ろし予定。									

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	11	—	0141	2018/11/7
調整後保管日時		2018年11月22日		10:30	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日	2018年11月22日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアPI(屋外)	2018/11/22 10:00	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0031

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月21日		(水)	10:30	承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1~4号機 外周堰排水弁設置工事							
	発生場所	J, Gエリア					2018/11/8	2018/11/8	2018/11/7
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/10/19	測定者			測定器名	ICWBL		
							管理番号	1F-ICWBL-35	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	
								$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	
								$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	金属ガラ	B	01	D	B	1 m ²	0.005 mSv/h	
	2						m ²		
	3						m ²		
	4						m ²		
	5						m ²		
メ モ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0155
				2018/11/8
調整後保管日時		2018年11月21日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/21 10:10	1.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0031

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月21日		(水)	11:00	承認	審査	作成			
	作業件名	1F-1~4号機 外周堰排水弁設置工事									
	発生場所	H5, Gエリア					2018/11/8	2018/11/8	2018/11/7		
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/10/19	測定者			測定器名	ICWBL				
							管理番号	1F-ICWBL-35			
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③							
	1	金属ガラ	B	01	D	B	0.5 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	2	不燃シート	B	10	D	B	1 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	3	保温材	B	06	D	B	1 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	4	ガラステープ	B	10	D	B	1 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	5	PE管(外装板付)	B	10	D	B	1 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	11	—	0156	2018/11/8
調整後保管日時		2018年11月21日		11:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年11月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				①	②	③	④	⑤	⑥						
	1	1	金属ガラ②	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアP1(屋外)	2018/11/21 10:50	0.5 m ²			1
	2	1	不燃シート②	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアP1(屋外)	2018/11/21 10:50	0.5 m ²			1
	3	1	保温材②	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアP1(屋外)	2018/11/21 10:50	1 m ²			1
	4	1	ガラステープ②	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアP1(屋外)	2018/11/21 10:50	0.5 m ²			1
	5	1	PE管(外装板付)②	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアP1(屋外)	2018/11/21 10:50	1 m ²			1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															
メモ															

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0181

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月21日	(水)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	AREVA薬液廃棄処理委託								
	発生場所	AREVA装置エリア								
	作業主管G	処理設備グループ	監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/10/16	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-35			
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	機器類	B	03	D	A	0.1 m ²	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	11	—	0158
調整後保管日時				2018年11月21日 10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	機器類②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/21 10:30	0.1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

計上No. 6013203 - 0001

作業主管理	保管希望日時	2018年11月21日				(水)	10:00				承認		審査		作成		
	作業件名	5/6号機サブドレン設備改造工事他1件															
	発生場所	3号機タービン建屋・プロセス建屋										2018/11/9		2018/11/9		2018/11/9	
	作業主管 G	建築水対策グループ						監理員						TEL			
	元請会社							担当者						TEL			
記録入欄メモ	線量測定年月日	2018/11/8		測定者				測定器名		DVAL		管理番号		FH-OWEL-55			
	No.	保管物名		※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β + γ 線量率		
				①	②	③							β 有		0.1		mSv/h
	1	金属ガラ		B	01	D	B	1	m ²	0.04	mSv/h	0.04	mSv/h	β 有		0.1	mSv/h
	2								m ²								
	3								m ²								
	4								m ²								
5								m ²									

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					2018/11/9
廃2018	—	11	—	0170	
調整後保管日時			2018年11月21日		10:00
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年11月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	5	$\mu\text{Sv/h}$	5	$\mu\text{Sv/h}$	55	$\mu\text{Sv/h}$	エリアW1	2018/11/21 9:45	1	m ³		ZK-01488	1
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	上記保管物収納後の6m3コンテナ(ZK-01488)表面: BG=7 μ Sv/h, 表面線量率=40 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=40 μ Sv/h
モ	

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月21日	(水)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	発電所構内除草・除伐業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 NO3危険物倉庫南側 (GJ-17)			2018/11/12	2018/11/12	2018/11/12			
	作業主管G	総務グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/11/7	測定者		測定器名	リ-ICW	管理番号 349			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	伐採木(幹・根)	D	01	D	A	15 m ²	7 μ Sv/h	10 μ Sv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
	企業殿持込み									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0171
				2018/11/12
調整後保管日時		2018年11月21日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	伐採木(幹・根)				エリアG(幹・根)	2018/11/21 9:45	10 m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012908 - 0033

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月21日		(水)	11:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F 通信機械室不要設備撤去								
	発生場所	無線局舎 (GN-25)					2018/11/12	2018/11/12	2018/11/11	
	作業主管G	通信システムグループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/11/9	測定者			測定器名	サーベーター	管理番号	F1-ICWBL-7	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	機器類・制御盤類	B	03	D	A	0.35 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2	金属ガラ	B	01	D	A	0.05 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	3	ケーブル類	B	08	D	A	0.2 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	4						m ²			
	5						m ²			
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

受 付 番 号			
廃2018	—	11	— 0176
2018/11/12			
調整後保管日時	2018年11月21日		11:30
【保管時の指示事項等】			

線量測定内容			
測定日	2018年11月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	機器類・制御盤類 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2018/11/21 11:05	0.4 m ²			1
	2	1	金属ガラ ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2018/11/21 11:05	0.1 m ²			1
	3	1	ケーブル類 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2018/11/21 11:05	0.2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012314 - 0002

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月21日	(水)	11:00	承認	審査	作成				
	作業件名	福島第一原子力発電所 免震重要棟休憩所他の放射線管理業務									
	発生場所	免震重要棟前プレハブ休憩所									
	作業主管G	作業環境改善グループ	監理員	TEL							
	元請会社		担当者	TEL							
	線量測定年月日	2018/11/8	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-108				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
	1	土砂(G,Y靴底に付着した土砂)	B	04	D	A	1.5 m ²	40 μSv/h	250 μSv/h	β有	350 μSv/h
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0182
				2018/11/12
調整後保管日時		2018年11月21日 11:00		
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年11月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μSv/h	80	μSv/h	230	μSv/h						
	1	1	土砂(G,Y靴底に付着した土砂)	5	μSv/h	80	μSv/h	230	μSv/h	エリアW1	2018/11/21 11:00	0.8 m ²		ZK-01574	1
												m ²			
												m ²			
												m ²			
												m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記保管物収納後の8m3コンテナ(ZK-01574)表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=50 μSv/h, β+γ線量率=50 μSv/h

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0023

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月21日		(水)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	G6エリアタンクリプレイス関連工事								
	発生場所	G6、H6北、B、G4タンクエリア					2018/11/12	2018/11/12	2018/11/12	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/11/6	測定者			測定器名	ICW(BL)	管理番号	F1-ICWBL-72	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	保温材	B	06	D	B	4 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2	金属ガラ	B	01	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	11	—	0187
				2018/11/13
調整後保管日時		2018年11月21日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアPI(屋外)	2018/11/21 10:15	5 m ²			1
	2	1	金属ガラ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアPI(屋外)	2018/11/21 10:15	0.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0023

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月21日		(水)	11:30		承認	審査	作成		
	作業件名	G6エリアタンクリプレイス関連工事									
	発生場所	H4東側仮置き場						2018/11/12	2018/11/12	2018/11/12	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL			
	元請会社				担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/10/2	測定者			測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICWBL-140		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	サニーホース	C	03	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β有	0.085 mSv/h
	2	エフレックス	C	04	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β有	0.011 mSv/h
	3	ゴム	C	01	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β有	0.06 mSv/h
4	ピンクシート・難燃シート	C	02	D	B	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.2 mSv/h	β有	0.8 mSv/h	
5	移送ホース	C	03	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β有	0.22 mSv/h	
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0188
				2018/11/13
調整後保管日時		2018年11月21日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	サニーホース	5 μSv/h	5 μSv/h	30 μSv/h	エリアW1	2018/11/21 10:55	0.5 m ²		ZK-01569	1
	2	1	エフレックス	5 μSv/h	5 μSv/h	30 μSv/h	エリアW1	2018/11/21 10:55	0.1 m ²		ZK-01569	1
	3	1	ゴム	5 μSv/h	5 μSv/h	30 μSv/h	エリアW1	2018/11/21 10:55	0.1 m ²		ZK-01569	1
	4	1	ピンクシート・難燃シート	5 μSv/h	60 μSv/h	120 μSv/h	エリアW1	2018/11/21 10:55	0.2 m ²		ZK-01569	1
	5	1	移送ホース	5 μSv/h	5 μSv/h	30 μSv/h	エリアW1	2018/11/21 10:55	1 m ²		ZK-01569	1
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
メモ	上記保管物収納後の6m3コンテナ(ZK-01569)表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=25 μSv/h, β+γ線量率=25 μSv/h											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0023

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月22日		(木)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	G6エリアタンクリプレイス関連工事								
	発生場所	G6、H6北、G4タンクエリア					2018/11/12	2018/11/12	2018/11/12	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/11/7	測定者			測定器名	ICW(BL)		管理番号	F1-ICWBL-72
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	防災シート			① 10	D B	4 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2	クリスタルターボ			C 04	D B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0189
				2018/11/13
調整後保管日時		2018年11月22日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2		ICW	F1-ICW-158
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	防災シート②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2018/11/22 10:05	2 m ²			1
	2	1	クリスタルターボ	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 10:20	0.1 m ²			2
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0023

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月22日		(木)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	G6エリアタンクリプレイス関連工事									
	発生場所	H4東側仮置き場					2018/11/12	2018/11/12	2018/11/12		
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/10/2	測定者			測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICWBL-140		
G	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③							
	1	ゴム	C	01	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	ピンクテープ	C	04	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	難燃シート・ピンクシート	C	02	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	4						m ²				
5						m ²					
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0190
				2018/11/13
調整後保管日時		2018年11月22日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	技 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ゴム	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 10:10	0.2 m ²			1
	2	1	ピンクテープ	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 10:10	0.05 m ²			1
	3	1	難燃シート・ピンクシート	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 10:10	0.1 m ²			1
									m ²			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月21日	(水)	9:00	承認	審査	作成			
	作業件名	土捨場北側土地造成工事								
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)			2018/11/13	2018/11/13	2018/11/13			
	作業主管G	廃棄物基盤グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/11/8	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-74			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	金属がら	B	01	D	A	5 m ²	3 μSv/h	3 μSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	11	—	0195	2018/11/14
調整後保管日時		2018年11月21日		9:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日	2018年11月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属がら②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2018/11/21 8:50	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月21日		(水)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	第二土捨場南側敷地造成工事								
	発生場所	第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)					2018/11/14	2018/11/14	2018/11/14	
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/11/2	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-120
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	木材類			① A 03 ② D ③ B	5 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無		
2					m ³					
3					m ³					
4					m ³					
5					m ³					
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0197
				2018/11/14
調整後保管日時		2018年11月21日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/21 8:15	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0001

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月21日		(水)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	第二土捨場南側敷地造成工事								
	発生場所	第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)						2018/11/14	2018/11/14	2018/11/14
	作業主管G	廃棄物基盤グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/11/2	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-120
	No.	保管物名				※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β - α 汚染の有無
1	紙・ウエス類				① 01 D B	1 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
2	プラスチック・ポリ・ビニール類				A 02 D B	1 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
3	可燃物その他				A 04 D B	3 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				2018/11/14
廃2018	—	11	— 0198	
調整後保管日時		2018年11月21日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年11月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	3	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/21 8:40	7.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β + γ 線量率欄に「 β + γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β + γ 線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0001

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月21日	(水)	9:30	承認	審査	作成									
	作業件名	第二土捨場南側敷地造成工事														
	発生場所	第二土捨場南側敷地造成工事エリア内(GT8~GT11)			2018/11/14	2018/11/14	2018/11/14									
	作業主管G	廃棄物基盤グループ		監理員	TEL											
	元請会社			担当者	TEL											
	線量測定年月日	2018/11/2	測定者		測定器名	ICW	管理番号 F1-ICW-120									
No.	保管物名	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率						
		①	②	③												
		1	金属ガラ	B	01						D	B	1 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
		2										m ³				
		3										m ³				
		4										m ³				
5					m ³											
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0199
				2018/11/14
調整後保管日時		2018年11月21日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年11月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-042	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/21 9:10	1 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥、W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0007

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月21日		(水)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F 共用プール南側ヤード整備工事								
	発生場所	1～4号機周辺					2018/11/13	2018/11/12	2018/11/12	
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/10/31	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-255		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	金属ガラ	B	01	D	B	3 m ³	50 μSv/h	50 μSv/h	無
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	11	—	0203	2018/11/14
調整後保管日時		2018年11月21日		8:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年11月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-042
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/21 8:05	3 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	状 態		D:乾燥, W:湿気有		履 歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013708 - 0050		
作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月21日		(水)	9:00		承認	審査	作成			
	作業件名	Bエリアタンク設置工事										
	発生場所	G1南エリア						2018/11/14	2018/11/14	2018/11/14		
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/11/13	測定者			測定器名	NaIシンチレーター		管理番号	リ-SC-163		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率			
	1	紙(キムタオル、ダンボール)	A	01	D	B	1 m ²	6 μSv/h	6 μSv/h	無		
	2	ビニール(テープ類)	A	02	D	B	2 m ²	6 μSv/h	6 μSv/h	無		
	3						m ²					
	4						m ²					
	5						m ²					
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	11	—	0206	2018/11/14
調整後保管日時		2018年11月21日		9:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年11月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μSv/h	2	μSv/h								
	1	1	紙(キムタオル、ダンボール)	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/11/21 9:00	1.1 m ²			1
	2	1	ビニール(テープ類)	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/11/21 9:00	2.1 m ²			1
												m ²			
												m ²			
												m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態		D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0051

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月21日	(水)	9:00	承認	審査	作成			
	作業件名	G6南エリアタンク他設置工事								
	発生場所	G1南エリア			2018/11/14	2018/11/14	2018/11/14			
	作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL					
	元請会社		担当者		TEL					
	線量測定年月日	2018/11/13	測定者		測定器名	NaIシンチレーター	管理番号			
							リ-SC-163			
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	不燃その他(シリコン容器)	B	10	D	B	2 m ²	6 μ Sv/h	6 μ Sv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
5						m ²				
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0207
				2018/11/14
調整後保管日時		2018年11月21日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-042
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃その他(シリコン容器) ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/21 9:00	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0025

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月22日		(木)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	Cエリアタンクリプレイス関連工事									
	発生場所	G1南エリア					2018/11/14	2018/11/14	2018/11/14		
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/11/13	測定者			測定器名	NaIシンチレーター				
							管理番号	リ-SC-163			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無			
		①	②	③				β+γ 線量率			
	1	金属ガラ(鉄板、鉄くず)	B	01	D	B	5 m ²	6 μSv/h	6 μSv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0208
				2018/11/14
調整後保管日時		2018年11月22日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-042
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ(鉄板、鉄くず) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/22 9:30	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0016

作業主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月21日		(水)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	G6エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	G6エリア					2018/11/14	2018/11/14	2018/11/14		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/11/13	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	T-ICWBL-04		
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	ビニール・プラスチック類	A	02	D	B	2 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	2	紙・ダンボール	A	01	D	B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	3	可燃物	A	04	D	B	2 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	4						m ²				
	5						m ²				
メモ	注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 瓦礫に関する連絡は、 までお願いします。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0211
				2018/11/15
調整後保管日時		2018年11月21日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール・プラスチック類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/21 8:00	1.1 m ²			1
	2	1	紙・ダンボール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/21 8:00	0.6 m ²			1
	3	1	可燃物	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/21 8:00	1 m ²			1
									m ²			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	②	D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				状 態		D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0016												
作業主管理	保管希望日時	2018年11月21日		(水)	12:00		承認	審査	作成													
	作業件名	G6エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事																				
	発生場所	G6エリア						2018/11/14	2018/11/14	2018/11/14												
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL															
	元請会社					担当者	TEL															
線量測定	線量測定年月日	2018/11/13		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	T-ICWBL-04											
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率												
			①	②	③																	
			1	不燃ゴミ	B							10	D	B	2	m ³	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	無	
			2	金属ゴミ	B							01	D	B	1	m ³	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	無	
3	ケーブル	B	08	D	B	1	m ³	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	無										
4	塩ビ管	B	05	D	B	1	m ³	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	無										
5							m ³															
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 瓦礫に関する連絡は、 までお願いします。																						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0212
				2018/11/15
調整後保管日時		2018年11月21日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年11月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	不燃ゴミ②	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	エリアP1(屋外)	2018/11/21 11:10	2	m ³		1
2	1	金属ゴミ②	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	エリアP1(屋外)	2018/11/21 11:10	1	m ³		1
										m ³		
										m ³		
										m ³		

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0016

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月22日		(木)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	G6エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	G6エリア					2018/11/14	2018/11/14	2018/11/14		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員						
	元請会社				担当者						
	線量測定年月日	2018/11/13	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	T-ICWBL-04		
G	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③							
	1	ビニール・プラスチック類	A	02	D	B	2 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	2	紙・ダンボール	A	01	D	B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	3	可燃物	A	04	D	B	2 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	4						m ²				
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 瓦礫に関する連絡は、 までお願いします。										

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					2018/11/15
廃2018	—	11	—	0213	
調整後保管日時		2018年11月22日		8:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年11月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール・プラスチック類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 8:15	2.8 m ²			1
	2	1	紙・ダンボール	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 8:15	0.5 m ²			1
	3	1	可燃物	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 8:15	1.3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0016

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月22日		(木)	12:00	承認	審査	作成		
	作業件名	G6エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	G6エリア				2018/11/14	2018/11/14	2018/11/14		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/11/13	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	T-ICWBL-04	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	不燃ゴミ	B	10	D	B	2 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	2	金属ゴミ	B	01	D	B	1 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	3	ケーブル	B	08	D	B	1 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	4	塩ビ管	B	05	D	B	1 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	5						m ³			
メモ	注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 瓦礫に関する連絡は、 までお願いします。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	11	—	0214
				2018/11/15
調整後保管日時		2018年11月22日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃ゴミ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/22 11:20	1 m ³			1
	2	1	金属ゴミ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/22 11:20	1 m ³			1
									m ³			
									m ³			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月21日	(水)	8:00	承認	審査	作成													
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事																		
	発生場所	H6タンクエリア																		
	作業主管G	貯留設備土木グループ	監理員	TEL																
	元請会社			担当者	TEL															
線量測定年月日	2018/11/6	測定者	測定器名		ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14													
No.	保管物名	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率										
		①	②	③																
		1	不燃物その他	B	10						D	A	2.5	m ³	20	μSv/h	30	μSv/h	無	
		2	塩化ビニール類	B	05						D	A	2.5	m ³	20	μSv/h	30	μSv/h	無	
		3											m ³							
		4											m ³							
5						m ³														
メ モ	4tユニック1台																			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0215
2018/11/15				
調整後保管日時		2018年11月21日		
		8:00		
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-83
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/21 8:00	1 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月22日	(木)	9:00	承認	審査	作成													
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事																		
	発生場所	残Co処理エリア			2018/11/15	2018/11/15	2018/11/15													
	作業主管G	貯留設備土木グループ	監理員		TEL															
	元請会社		担当者		TEL															
	線量測定年月日	2018/11/14	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 T-ICWBL-04													
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率											
		①	②	③																
		1	コンクリートガラ	B						02	D	A	15	m ³	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	無	
		2											m ³							
		3											m ³							
		4											m ³							
5						m ³														
メモ	10tダンプ(5m3分) × 3台 = 15m3 コンクリートガラ搬出いたします。																			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0216
				2018/11/15
調整後保管日時		2018年11月22日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/11/22 9:10	5 m ³			1
	1	2	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/11/22 10:20	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

計上No.	6013112 - 0005
-------	----------------

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					2018/11/15
廃2018	—	11	—	0222	
調整後保管日時		2018年11月21日			12:00
【保管時の指示事項等】					

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	5	$\mu\text{Sv/h}$	5	$\mu\text{Sv/h}$	20	$\mu\text{Sv/h}$	エリアP2	2018/11/21 11:35	9	m ³		1
													m ³		
													m ³		
													m ³		
													m ³		

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ 上記の保管物はシート養生にて保管。

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月22日	(木)	12:30	承認	審査	作成				
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	セシウム第4施設北									
	作業主管G	貯留設備土木グループ	監理員								
	元請会社		担当者								
	線量測定年月日	2018/11/13	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-137			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
	1	金属ガラ	B	01	D	A	18 m ²	0.001 mSv/h	0.002 mSv/h	β有	0.06 mSv/h
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
メモ	貯留設備土木G 殿と固体廃棄物G 殿の間で持込み調整済み。										

受 付 番 号			
廃2018	—	11	—
		0223	2018/11/15
調整後保管日時	2018年11月22日		12:30
【保管時の指示事項等】			

線量測定内容			
測定日	2018年11月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	5 μSv/h	5 μSv/h	20 μSv/h	エリアP2	2018/11/22 11:50	9 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ	上記の保管物はシート養生にて保管。											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0022																																					
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月21日		(水)	8:30		承認	審査	作成																																						
	作業件名	処理水パッファタンク取替設工事																																													
	発生場所	処理水パッファタンクエリア内(GK-19)						2018/11/14	2018/11/14	2018/11/14																																					
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL																																								
	元請会社					担当者	TEL																																								
	線量測定年月日	2018/9/12		測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	F1-ICWBL-114																																				
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率																																				
	1	コンクリートガラ			B	02	D	A	10 m ²	40 μSv/h	50 μSv/h	無																																			
	2								m ²																																						
	3								m ²																																						
	4								m ²																																						
	5								m ²																																						
	10tDT×2台																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="4">2018年11月21日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="2">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td colspan="2">F1-ICWBL-111</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>													線量測定内容					測定日	2018年11月21日				測定No.	氏名	測定器	管理番号		1		ICWBL	F1-ICWBL-111		2					3					4				
線量測定内容																																															
測定日	2018年11月21日																																														
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																												
1		ICWBL	F1-ICWBL-111																																												
2																																															
3																																															
4																																															
保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																			
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/11/21 8:10	5 m ²			1																																			
	1	2	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/11/21 8:15	5 m ²			1																																			
									m ²																																						
									m ²																																						
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																															
メ モ																																															
※ カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																																		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																																		
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																																		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																																		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																																		
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																																		
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																		
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																		
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」																																							
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。																																															

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0022

作業主管理	保管希望日時	2018年11月22日		(木)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	処理水バフファタンク取替設工事								
	発生場所	処理水バフファタンクエリア内(GK-19)					2018/11/14	2018/11/14	2018/11/14	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
G記入欄	線量測定年月日	2018/9/12	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	F1-ICWBL-114
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	10 m ²	40 μSv/h	50 μSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
メモ	10tDT×2台									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0225
				2018/11/15
調整後保管日時		2018年11月22日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年11月22日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μSv/h	5	μSv/h								
メ モ	1	1	コンクリートガラ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/11/22 8:40	5 m ²			1
	1	2	コンクリートガラ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/11/22 8:50	5 m ²			1
												m ²			
												m ²			
												m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0022

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月22日	(木)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	処理水パツファタンク取替設工事								
	発生場所	処理水パツファタンクエリア内(GK-19)			2018/11/14	2018/11/14	2018/11/14			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/9/12	測定者	測定器名	ICW-BL	管理番号	F1-ICWBL-114			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率			
		①	②	③						
1	コンクリートガラ	B	02	D	A	10 m ³	40 μSv/h	50 μSv/h	無	β+γ 線量率
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
10tDT×2台										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0226
				2018/11/15
調整後保管日時		2018年11月22日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年11月22日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/11/22 9:35	5 m ³			1
	1	2	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/11/22 9:45	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6015203 - 0001		
作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月21日		(水)	12:30		承認	審査	作成			
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託3期										
	発生場所	5, 6仮置き場(5, 6号開閉所北側)						2018/11/14	2018/11/14	2018/11/14		
	作業主管G	工事基盤整備グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/11/5		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-033	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	不燃物その他	B	10	D	A	30 m ³	0.004 mSv/h	0.004 mSv/h	β 有	0.015 mSv/h	
	2						m ³					
	3						m ³					
	4						m ³					
	5						m ³					
メ モ	注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 6m3コンテナ5基											

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	11	—	0228	2018/11/15
調整後保管日時		2018年11月21日		12:30	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日	2018年11月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(ZK-01751)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	固体庫9棟地上1階	2018/11/21 11:40	6 m ³		ZK-01751	1
	1	2	6m3コンテナ(ZK-01758)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	固体庫9棟地上1階	2018/11/21 11:40	6 m ³		ZK-01758	1
	1	3	6m3コンテナ(ZK-01754)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	固体庫9棟地上1階	2018/11/21 11:40	6 m ³		ZK-01754	1
	1	4	6m3コンテナ(ZK-01690)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	固体庫9棟地上1階	2018/11/21 11:40	6 m ³		ZK-01690	1
	1	5	6m3コンテナ(ZK-01753)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	固体庫9棟地上1階	2018/11/21 11:40	6 m ³		ZK-01753	1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ	上記の保管物は6m3コンテナ5基に分けて収納。											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
				B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
						06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
						11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—				
D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—				
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」									
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)															
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。															
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β + γ 線量率欄に「 β + γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β + γ 線量率の記載不要。															

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0160

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月21日	(水)	9:00	承認	審査	作成													
	作業件名	F1~4号機 既設多核種除去設備 A系Stafe1循環ポンプ出口ドレンライン漏えい対応(B系移設)																		
	発生場所	既設MRRS			2018/11/15	2018/11/15	2018/11/15													
	作業主管G	処理設備グループ	監理員	TEL																
	元請会社			担当者	TEL															
線量測定年月日	2018/11/13	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-304												
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率											
		①	②	③																
		1	可燃物(紙・ウエス類)	A						01	D	A	3	m ²	0.01	mSv/h	0.03	mSv/h	無	
		2											m ²							
		3											m ²							
		4											m ²							
5						m ²														
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0230
				2018/11/15
調整後保管日時		2018年11月21日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μSv/h	2	μSv/h								
	1	1	可燃物(紙・ウエス類)							エリアV(瓦礫類)	2018/11/21 9:15	2.8	m ²		1
													m ²		
													m ²		
													m ²		
													m ²		
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															
メ モ															

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0148

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月22日	(木)	12:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-1~4号機 既設多核種除去設備点検手入工事(H30)							
	発生場所	既設MRRS							
	作業主管G	処理設備グループ	監理員	TEL					
	元請会社	担当者		TEL					
	線量測定年月日	2018/11/13	測定者	測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-304		
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	不燃物(金属類)	B 01	D A	1 m ³	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
	2	難燃物(ピンクシート類)	C 02	D A	4 m ³	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
	3				m ³				
	4				m ³				
5				m ³					
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。								

受 付 番 号			
廃2018	—	11	— 0231
2018/11/15			
調整後保管日時	2018年11月22日		12:30
【保管時の指示事項等】			

線量測定内容			
測定日	2018年11月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-042
2		ICW	F1-ICW-158
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	不燃物(金属類) ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h			エリアP(屋外)	2018/11/22 11:40	1 m ³			1
2	1	難燃物(ピンクシート類)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 12:30	1.7 m ³			2
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
			B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
					06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				難燃物	01	フランジタンク本体	02	フランジタンク付属品	03	—	04	—	05	—
					01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		伐採木		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6015204 - 0001		
作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月21日		(水)	11:00		承認	審査	作成			
	作業件名	2018年工事用重機・車両の管理・運用委託										
	発生場所	スラッジャード						2018/11/16	2018/11/16	2018/11/16		
	作業主管G	保全計画グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/11/16		測定者	測定器名 ICWBL		管理番号	1F-ICWBL-98				
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③								
	1	木材	A	03	D	B	2 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無		
	2	紙・ウエス類	A	01	W	B	1 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無		
	3	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	1 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無		
	4						m ²					
	5						m ²					
メ												
モ												

線量測定内容											
測定日	2018年11月21日										
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICW	F1-ICW-158								
2											
3											
4											

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/21 11:00	1 m ²			1
	2	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/21 11:00	1.2 m ²			1
	3	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	10 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/21 11:00	1.7 m ²			1
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ

モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	D	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012601 - 0031

作業主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月22日		(木)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	パツファタンク取替関連除却工事								
	発生場所	2号機 CSTタンク					2018/11/12	2018/11/12	2018/11/12	
	作業主管G	原子炉冷却グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
G	線量測定年月日	2018/11/7	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-21	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	紙類	A	01	D	B	0.3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	キムタオル	A	01	D	B	0.3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
メ モ	3	表示類	A	04	D	B	0.3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	4					m ²				
	5					m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0243
				2018/11/19
調整後保管日時		2018年11月22日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 11:00	0.1 m ²			1
	2	1	キムタオル	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 11:00	0.1 m ²			1
	3	1	表示類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 11:00	0.1 m ²			1
									m ²			
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012601 - 0031

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月22日		(木)	11:00	承認	審査	作成			
	作業件名	バツファタンク取替関連除却工事									
	発生場所	2号機 CSTタンク					2018/11/12	2018/11/12	2018/11/12		
	作業主管G	原子炉冷却グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/11/7	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-21		
G	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③							
	1	ゴムシート	C	01	D	B	0.1 m ²	0.015 mSv/h	0.015 mSv/h	β有	0.02 mSv/h
	2	パイプキャップ	B	05	D	B	0.1 m ²	0.015 mSv/h	0.015 mSv/h	β有	0.03 mSv/h
	3	スラッジ	B	10	D	A	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β有	0.02 mSv/h
	4						m ²				
5						m ²					
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0244
				2018/11/19
調整後保管日時		2018年11月22日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年11月22日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ゴムシート	5 μSv/h	5 μSv/h	20 μSv/h	エリアW1	2018/11/22 11:25	0.1 m ²		ZK-01569	1
	2	1	パイプキャップ	5 μSv/h	5 μSv/h	30 μSv/h	エリアW1	2018/11/22 11:25	0.1 m ²		ZK-01574	1
	3	1	スラッジ	5 μSv/h	5 μSv/h	200 μSv/h	エリアW1	2018/11/22 11:25	0.1 m ²		ZK-01574	1
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ	ZK-01569表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=30 μSv/h, β+γ線量率=30 μSv/h ZK-01574表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=50 μSv/h, β+γ線量率=50 μSv/h											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012601 - 0031

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月22日	(木)	11:00	承認	審査	作成					
	作業件名	パツファタンク取替関連除却工事										
	発生場所	2号機 GSTタンク			2018/11/12	2018/11/12	2018/11/12					
	作業主管 G	原子炉冷却グループ	監理員		TEL							
	元請会社		担当者		TEL							
	線量測定年月日	2018/11/7	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-21				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率			
	1	タンホール	A	01	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	2	ビニール	A	02	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	3	番線	B	01	D	B	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	4	チトリ	A	02	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	5	水切りワイパー	A	02	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
メ モ	注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0245
				2018/11/19
調整後保管日時		2018年11月22日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICWBL	F1-ICWBL-127
3		ICWBL	F1-ICWBL-111
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	タンホール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 11:00	0.2 m ²			1
	2	1	ビニール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 11:00	1 m ²			1
	3	1	番線 ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/11/22 11:05	0.1 m ²			3
	4	1	チトリ	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 11:00	0.1 m ²			1
	5	1	水切りワイパー	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 11:00	0.1 m ²			1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。													

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率			
			①	②	③										
	6	スハナ	B	01	D	B	0.2	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	7	不燃シート	B	10	D	B	0.1	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	8	難燃シート	C	02	D	B	0.1	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	9	塩化ビニール類	B	05	D	B	0.1	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	10	皮手袋	A	04	D	B	0.1	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	11	—	0245

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	6	1	スパナ②	5	$\mu\text{Sv/h}$	5	$\mu\text{Sv/h}$			エリアP1(屋外)	2018/11/22 11:05	0.05	m ³			3
	7	1	不燃シート②	5	$\mu\text{Sv/h}$	5	$\mu\text{Sv/h}$			エリアP1(屋外)	2018/11/22 11:05	0.2	m ³			3
	8	1	難燃シート	2	$\mu\text{Sv/h}$	2	$\mu\text{Sv/h}$			エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 11:00	0.3	m ³			1
	9	1	塩化ビニール類	2	$\mu\text{Sv/h}$	2	$\mu\text{Sv/h}$			エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 11:00	0.1	m ³			2
	10	1	皮手袋	2	$\mu\text{Sv/h}$	2	$\mu\text{Sv/h}$			エリアV(瓦礫類)	2018/11/22 11:00	0.2	m ³			1
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012601 - 0031

作業主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月22日		(木)	11:30	承認	審査	作成							
	作業件名	バッファタンク取替関連除却工事													
	発生場所	2号機 GSTタンク					2018/11/12	2018/11/12	2018/11/12						
	作業主管G	原子炉冷却グループ			監理員	TEL									
	元請会社				担当者	TEL									
線量測定年月日	2018/11/7	測定者				測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-21						
G 記 入 欄 メ モ	No.	保管物名				※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率			
		①	②	③											
	1	キムタール	A	01	W	B	0.5	m ²	0.015	mSv/h	0.015	mSv/h	β 有	0.07	mSv/h
	2	マセリン	A	01	D	B	0.1	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	β 有	0.02	mSv/h
	3	トラローフ	A	02	D	B	0.1	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	β 有	0.02	mSv/h
	4	モップ	B	10	W	B	0.1	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	β 有	0.02	mSv/h
	5	テープ類	A	02	D	B	0.2	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	β 有	0.02	mSv/h
	注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	11	—	0246
				2018/11/19
調整後保管日時		2018年11月22日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年11月22日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	技 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	キムタール	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	400 μ Sv/h	エリアW1	2018/11/22 11:45	0.5 m ²		ZK-01569	1
	2	1	マセリン	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	20 μ Sv/h	エリアW1	2018/11/22 11:45	0.1 m ²		ZK-01569	1
	3	1	トラローフ	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	20 μ Sv/h	エリアW1	2018/11/22 11:45	0.1 m ²		ZK-01569	1
	4	1	モップ	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	50 μ Sv/h	エリアW1	2018/11/22 11:45	0.1 m ²		ZK-01574	1
	5	1	テープ類	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	50 μ Sv/h	エリアW1	2018/11/22 11:45	0.2 m ²		ZK-01569	1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ
ZK-01569表面: BG=7 μ Sv/h, 表面線量率=30 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=30 μ Sv/h
ZK-01574表面: BG=7 μ Sv/h, 表面線量率=50 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=50 μ Sv/h

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
			①	②	③										
	6	クランプ	B	01	D	B	0.1	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	β 有	0.02	mSv/h
	7	ウェス	A	01	W	B	0.5	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	β 有	0.03	mSv/h
	8	オイルパン	B	01	D	B	0.1	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	β 有	0.02	mSv/h
	9	番線	B	10	D	B	0.1	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	β 有	0.02	mSv/h
	10	ロープ	A	04	W	B	0.1	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	β 有	0.02	mSv/h

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	11	—	0246

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。